

## 第2回

令和 6年5月28日(火) 15時~17時

### 教材番号 2.4 かかわってみて・・・

～地域の大人ができること～ (アレンジ版)

実施機関・団体等	大野東市民センター
参加者数	支援者・スタッフ 16名
ファシリテーター	メイン：中丸 直見さん サブ：神原 彩乃さん、光井 祐子さん

#### ● 講座の様子

##### 目的

大野東市民センターで、6月から「こどもの居場所@おおのひがし」を始めるにあたり、地域の大人として子どもを見守るメンバーの気持ち揃えをするため。

#### 1. オリエンテーション

あいさつ、ねらい、親プロの説明、ファシリテーターを紹介。

#### 2. アイスブレイク

簡単なボードゲーム、カードゲーム、パズルなどをいくつか用意し、自由に遊んでもらう。皆さん童心に戻り、夢中になって遊んでいた。



#### 3. 3つの約束プラス1を確認し、プログラムに沿って進行。



まず、2つのグループに分かれ、子どもの頃どんな場所でどんな遊びをしていたか付箋を使って振り返った。

続いて、今の子どもは、どんな遊びをしているのかを考え、子どもの健やかで豊かな成長のために、どんな大人であつたらよいかを話し合った。

各班で話し合ったことを全体発表。

- ・子どもが安心して自由に話ができる場所、話を聞いてあげる場所になる。
  - ・親が安心できる人(場所)になる。
  - ・自分(大人)にとっても「こどもの居場所」は、子どもを知るチャンスの時。
  - ・大人も一緒に楽しむ。 など
- 全員で意見を共有した。



#### 4. 最後は、参加者に1人ずつ「今日の気づき」を発表した。

#### ● ファシリテーターの感想

- ・アイスブレイクのゲームでは、皆さんにリラックスして楽しんでもらえた。
- ・フリーでゲームやおもちゃで遊ぶことで、立場に関係なく遊べていた。
- ・皆さんがとても意欲的に話されていた。
- ・年代の違う皆さんの話が、自分の子どもの頃と違って楽しかった。